

週刊 SSH（2月23日）

マリンチャレンジプログラム 全国大会

リバネスのマリンチャレンジプログラムに採択されたSS物理コースの生徒の研究「円形ホバークラフトの開発」の研究が関東大会を突破し、全国大会に出場しました。全国大会では堂々と研究発表を行い、JASTO（一般社団法人日本先端科学技術人材研究開発機構）賞を受賞することができました。

全国大会には、北海道から沖縄県まで全国各地の学生が参加していました。マリンチャレンジ全国大会出場の15チームに加え、「日本の海洋プランクトンマップを作ろう！」をテーマとした共同研究プロジェクト参加の10チームも集い、会場は大いに盛り上がりました。

研究発表だけでなく、学生同士が交流する時間も十分にあり、地域を越えたつながりを築く貴重な機会となりました。本校の生徒にとっても、多くの刺激と学びを得る大会となりました。



予想よりいい賞が取れたこと、他の人の発表やポスターをみれたことがよかったです。一方で、短い時間内での発表だったことから要所を目立たせる技術が求められ、その点については課題が残りました。また、ポスターについても現在使っているスライドショーを貼り付けるスタイルのポスターは悪い意味で浮いており、改善の必要性を強く感じました。